

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

「目的」「目標」そして「努力」

校長 佐藤 光宏

中学校生活を通して学ぶべきことの一つに「目的をもつこと」「目標を設定すること」そして「努力すること」の大切さがあります。

「目的」と「目標」は、意外と混同しやすい言葉です。違いを明確に説明することができますか？「目的」とは自分の未来を実現するキーワードだといえます。それには、漠然とした夢や希望を含める場合もあります。一方「目標」は、「目的」を達成するためのステップであり、目指すべき行動やその道筋を示したものです。

「目的」がないのに「目標」だけがあることはあり得ません。たとえば、「全国優勝」という「目的」があつてこそ、「まずは1勝」「とりあえず地区大会で1位になろう」という「目標」するものを得られることとなります。

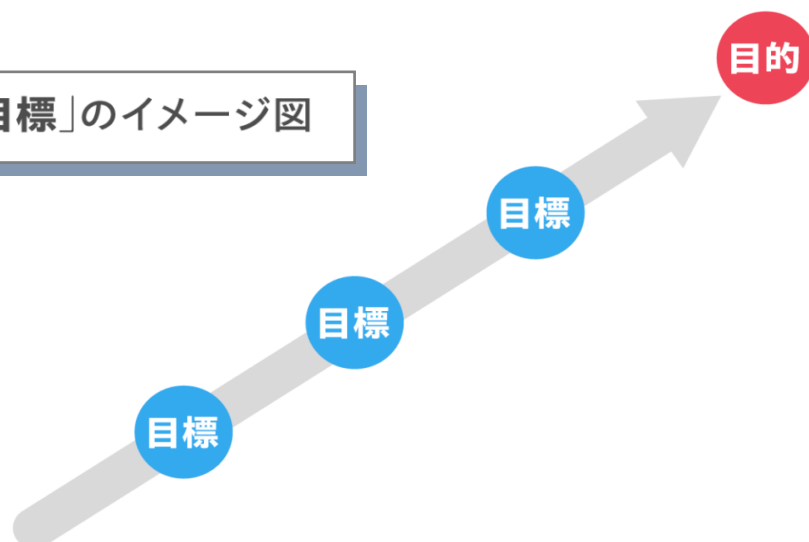
もちろん、その人、あるいはチームによって、「目的」へのアプローチの違いはあるでしょう。大きな「目標」をクリアして一足飛びに「目的」向かう方法もあるし、細かい「目標」をいくつも設定し、ステップを踏みながら着実に「目的」に向かう方法もあるはずです。

学習でも同じように、まずは「目的」、言い換えれば夢や希望をもち、「目標」を立てて普段の授業やテストに臨んでほしいと思います。そして、その「目標」をクリアするために努力を続けてほしいと願っています。

《何を・いつまでに・どのようにするのか》を具体化し、それを確実に実行するという、積み重ねが大切です。このことを授業や部活動など、さまざまな中学校生活のなかで学んでいってください。そうすれば1日1日が、とても貴重な時間に思えてくるはずです。

毎日を大切に過ごし、あなたの目指す未来を実現していきましょう！

「目的」と「目標」のイメージ図





令和5年5月27日(土)

第56回 体育大会



体育大会を終えて

全校練習は雨天で中止となり、翌日の予行練習も内容短縮での実施でした。幸い当日は好天に恵まれ、生徒たちは心置きなく体育大会に臨むことができました。

生徒一人一人の体育大会に取り組む姿勢は大変素晴らしいものでした。バトンパスをミスしても、途中で転倒しても最後まで全力でやり切る姿がありました。また、失敗をした仲間を気遣う姿を沢山見られたことが嬉しかったです。予行練習で、係の仕事を確認し切れなかった面がありましたが、先輩が後輩をリードし、本番は予定通りの進行となりました。体育大会には勝ち負けよりも大切なものがありました。みなさんが体育大会で得たものを今後に生かし、素晴らしい学校生活にしていけることを願っています。

実行委員長／宮下

教育実習

5月8日から26日までの3週間にわたり、3名の教育実習生が実習しました。担当教科は、理科、数学、社会で、3名とも2学年のクラスに入りました。授業のみならず、給食や学活、部活動でも生徒と共に過ごし、充実の3週間でした。体育大会当日にもボランティアでお手伝いに来ていただきました。

ふれあい自然教室

1 学年

「1学年ふれあい自然教室」 5月11日(木)～12日(金)で山梨県(河口湖・山中湖周辺)へ行ってきました。富士山のふもと、都会では味わえない自然豊かな所で、風穴や氷穴を訪れたり、ハイキングやバードコール作りなどを行い、各クラス・学年内で交流を深めました。



生徒総会

今年度の生徒総会はリモートではなく、数年ぶりに全校生徒がアリーナに集まって行われました。一般生徒と各委員会の委員長が直接顔を合わせます。全校生徒が見守る中、発言者の質問と委員長の答弁はやり取りされます。そこには独特の緊張感があります。両者にとって貴重な経験です。特に各委員長は数百人の前での答弁です。発言に対する責任の重さを実感したことでしょう。一方で、やり取りを直接見ていた生徒たちにおいては、自分たちも委員会の活動に関わっているという意識づけになったのではないかと思います。それぞれの立場の違いはあります。そのなかで同じ学校にどう関わるかを考えるのが生徒総会です。その点では今年度の生徒総会は成功であったと思います。

各委員会は自分たちの責任を果たすことに努め、そのほかの生徒たちは委員会活動を支え、より楽しく過ごしやすい学校づくりにつなげてほしいと思っています。

生徒会担当／若山

5/9
(水)